

こころの健康セミナー

災害とメンタルヘルス ～ 知ることから始める備えの1歩～

メンタルヘルスの不調や精神疾患を引き起こす原因は多岐にわたります。私たちが日々、生活する中では、仕事や家庭などの様々なストレスが原因になることもあります。自然災害や事件・事故、直近では新型コロナウイルス感染症に代表される感染症等もその一因になることがあります。

災害等で被災した際、私たちのこころはどのような影響を受けるのか知り、こころの面でも災害時への備えをはじめてみませんか。

第1部

講演

「災害時におけるストレスとその影響」

講師／福地 成 氏

東北医科薬科大学病院 精神科 病院准教授
公益社団法人宮城県精神保健福祉協会
みやぎ心のケアセンター センター長

第2部

シンポジウム

「被災地を通して見えたもの、 感じたもの」

シンポジスト／

大橋 博樹 氏

多摩ファミリークリニック 院長
日本プライマリ・ケア連合学会 副理事長

福地 成 氏

東北医科薬科大学病院 精神科 病院准教授
公益社団法人宮城県精神保健福祉協会
みやぎ心のケアセンター センター長

川崎市職員

令和5年 10/14(土)

14:00～16:45(開場13:30)

ソリッドスクエア ホール

川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア 地下1階

■お問い合わせ 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター

☎044-200-3197

※感染症や天災などの理由により、やむなく開催を中止する場合がございますので、予めご了承ください。

参加費
無料

オンライン同時開催

講師・シンポジストの紹介

福地 成氏

東北医科薬科大学病院 精神科 病院准教授
東北医科薬科大学医学部 精神科学教室 講師
公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター センター長

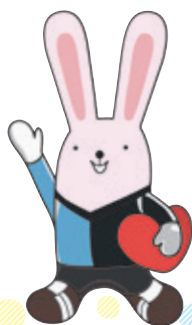
2001年弘前大学卒業。青森県立中央病院と北海道こども心療内科 氏家医院にて小児科医として、主に地域の乳幼児健診や子どもの発達障害臨床に従事。その後、宮城県立精神医療センターにて精神科医として精神科救急、地域精神保健に従事。また、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室にて、自殺の疫学・予防の研究にも従事。2008年からは宮城県で初めての児童精神科病棟の運営に東北福祉大学せんだんホスピタルにて取組。

2011年12月より、震災復興に特化した「みやぎ心のケアセンター」に勤務し、宮城県を中心として被災地の訪問、各種の普及啓発活動、地域支援者へのスーパーバイズなどに従事。被災地で暮らす子どもたちの長期的な健康調査（みちのくこどもコホート <http://www.miccageje.org/>）にも携わっている。2021年4月より現職。

大橋 博樹氏

多摩ファミリークリニック 院長
日本プライマリ・ケア連合学会 副理事長

2000年獨協医科大学医学部医学科卒業。武蔵野赤十字病院にて臨床研修修了後、聖マリアンナ医科大学病院総合診療内科・救命救急センター、筑波大学附属病院総合診療科、亀田総合病院家庭医診療科勤務の後、川崎市立多摩病院開院準備に参画し、2006年2月の開院より総合診療科医長として従事。2010年4月多摩ファミリークリニックを開業。



講演会の詳細およびお申し込みについては、
川崎市ホームページからご確認ください

<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000136850.html>



会場案内

ソリッドスクエア ホール

川崎市幸区堀川町580番地
ソリッドスクエア 地下1階

- 川崎駅西口または北口西から徒歩約8分
- 京急川崎駅西口から徒歩約7分

【問い合わせ先】

川崎市健康福祉局
総合リハビリテーション推進センター
☎044-200-3197



「気づいてください！ 体と心の限界サイン」

川崎市自殺対策推進
キャラクター「うさっぴー」

「九都県市自殺対策キャンペーン」統一標語

首都圏の住民は、通勤・通学等のため都県市を越えて活動していることから、九都県市共同で広域的な自殺対策に取り組んでいます
埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉県・さいたま市・相模原市

川崎市 ところ



各種相談窓口も
案内しています



川崎市健康福祉局 総合リハビリテーション推進センター
☎044-200-3197